

科目コード S&M121101

科目名	経営学概論 Survey of Business Administration		選択	2単位
学期・曜日・時限	秋・土・集中	-	-	-
担当教員名	百合岡 雅博	e-mail		
講義形式	ハイフレックス（教員は学外から講義を実施するが2回程度は講義室から行う場合がある。）※対面履修生は全回講義室から参加			
<p><講義の概要と目的></p> <p>本講義では、経営学の主要な分野を個別に学修することで基礎を習得する。分野ごとにディスカッションを行うことで、経営分野の体系的な学習を目指すとともに、どのような業界のビジネスパーソンでも活用できる知識の習得を目指す。</p> <p>新規事業担当者には専門的なマネジメントスキルの獲得、経営者には将来を見据えた計画、および自社の現実的な課題を解決、アントレプレナーにとっては独自性のあるビジネスアイデアの創出と実行において求められる実務視点を醸成、自社や自社業界で適用できる能力の獲得を期待する。</p> <p><到達目標></p> <p>経営学の主要分野について概要や役割を把握する。 経営理論と実践を結合でき実務で活用できる。 大学院の学修において考えるべき各種課題について、横断的な理解を深める。</p> <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>分野ごとにケースを用いた討論（ディスカッション）を実施する。</p>				
<p><講義計画></p> <p>講義計画は以下の通り。ただし講義の進行状況によっては、講義計画を若干変更する場合がある。</p> <p><11月8日（土）2～4限：経営学と経営戦略></p> <p>1回目：（講義）経営学の概要と基本フレームワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：経営と経営者の役割、成長戦略・競争戦略について、ポジショニングの視点から説明する。 <p>2回目：（講義）戦略策定と戦略実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：戦略策定のプロセスから実現について、資源と両利きの視点から説明する。 <p>3回目：（討論）仮想企業を対象に戦略課題と解決策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：全社視点での戦略思考について討論する。 <p><11月22日（土）2～4限：イノベーションとビジネスモデル></p> <p>4回目：イノベーションとネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：（講義）イノベーションの概念と実現プロセスについて説明する。 <p>5回目：ビジネスモデルと技術活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：（講義）ビジネスモデルの類型、構築・革新の視点や課題、デジタル（DX）など新たな技術の活用も含め説明する。 <p>6回目：（討論）仮想企業を対象にビジネスモデル革新の検討</p>				

- ・要点：ビジネスモデル革新を通じたイノベーションの実現課題について討論する。

<11月29日（土）2～4限：マーケティング>

7回目：（講義）マーケティングの概要

- ・要点：顧客志向と競争志向、マーケティング視点（STP+4P）について説明する。

8回目：（講義）マーケティング活動

- ・要点：B2CとB2Bのマーケティング活動の違いをもとに、プロダクト開発、ブランディング、プロモーションについて説明する。

9回目：（討論）仮想商材を対象にマーケティングプランの立案

- ・要点：実現可能なマーケティングプランの立案について討論する。

<12月13日（土）2～4限：組織変革とリーダーシップ>

10回目：（講義）組織のソフト面とハード面、組織変革

- ・要点：組織構造に関する基礎知識、学習する組織や両利きの経営について説明する。

11回目：（講義）組織文化とリーダーシップの役割

- ・要点：人的資源管理やチームビルディングについて、リーダーシップを背景に説明する。

12回目：（討論）仮想企業を対象に組織変革シナリオを検討

- ・要点：組織変革の課題の絞り込みと対応方法について討論する。

<1月10日（土）2～4限：ビジネスプランとファイナンス>

13回目：（講義）ビジネスプランの構成要素

- ・要点：ビジネスモデルキャンバスを土台に、ビジネスアイデア、収益モデルについて説明する。

14回目：（講義）財務管理・分析の基礎

- ・要点：財務諸表の読み方、資金調達について説明する。

15回目：（討論）仮想企業を対象にした、ビジネスプランの立案ポイント

- ・要点：競争優位の獲得と持続を意識した実現可能なビジネスプランの立案について討論する。

<講義の進め方>

各分野を3回で構成し、講師からの講義2回と討議1回を組み合わせることで実施する。

講義冒頭で講師より討議の概要を説明した後、グループに分かれケースの内容および講師より提示するケース設問について議論を行う。グループ討議終了後、全体討議を行いグループ討議の内容を共有する。グループ討議および全体討議の時間配分については、講義内容に合わせ適時指示を行う。

討議内容をもとに、各自レポート課題を作成する。

<事前事後学習内容>

課題1：討論をもとに、想定課題の整理と解決策、気づきをレポートする。

課題2：討論をもとに、ビジネスモデル革新における課題、気づきをレポートする。

課題3：討論をもとに、マーケティングプランの立案、気づきをレポートする。

課題4：討論をもとに、組織変革シナリオの立案、実現のためのリーダーシップの役割について、レポートを作成する。

課題5：本講義全般にわたる全講義、討論・検討課題などをもとに総括レポートを作成する。

<p><予習・復習時間></p> <p>各回の予習・復習には計4時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をする。</p>
<p><教科書及び教材></p> <p>教科書は指定しない。教材は毎回レジュメなどを配布する。</p>
<p><参考書></p> <p>「ゼミナール経営学入門（新装版）」日本経済新聞社 伊丹敬之・加護野忠男、2022 「収益多様化の戦略」東洋経済新報社、川上昌直、2021 「はじめての経営学」東洋経済新報社、東洋経済新報社（編著）、2013 「経営戦略の教科書」光文社、遠藤功、2011</p>
<p><成績評価方法></p> <p>欠席6回以上は成績評価しない。 課題：4、最終課題：3、授業への貢献：3の比率で評価する。</p>
<p><課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法></p> <p>原則講義内でフィードバックする。</p>
<p><履修条件></p> <p>特になし</p>
<p><ディプロマポリシーとの関連></p> <p>基礎知識の学修に該当</p>
<p><録画映像の視聴> 可</p>
<p><オフィスアワー></p> <p>E-mail で事前アポイントのうえ実施する。</p>
<p><その他></p> <p>授業内のディスカッションと課題を重視する。 討論で取り上げる仮想企業は実際の企業を想定したものだが、特定の要因や前提に影響されことなく議論するため、あえて仮想として設定している。 変則的な日程での開講となるため、開講曜日・時限に注意する。</p>